

広報特別委員会

日 時 令和2年3月19日（木）

全員協議会終了後

場 所 議会会議室1

付議事項

1 議会だよりの全体構成について

2 次号（第58号）の発行について

(1) 紙面構成について …資料1

(2) 原稿割当てと校正担当について …資料2

(3) 発行までの流れ（予定）について …資料3

(4) 一般質問の論点と回答について

・原稿締切日 令和2年4月30日（木）

3 その他

恒松恵子議員



女性が働きやすい環境を

【今回の一般質問】

- ・ 駅前都市再生整備計画
- ・ 小野田駅周辺の改善・整備
- ・ 女性の就労に伴う課題

就労支援

Q 夜勤を伴う就労や自営業、農業従事者に対して保育園はどのように対応しているのか。

A 8時間の短時間認定と11時間の標準認定を保護者の就労時間によって認定している。就労証明提出時に短時間認定、標準認定としているが、多忙時や農繁期などは延長保育の利用を各園において柔軟に対応している。

Q 放課後児童クラブについて、支援員不足の課題を保護者の負担を増やすことで解決し、時間延長できないか。

A 従来からの要望であると認識しているが、賃金だけでなく支援員の受け手がないということもある。これからの施策を考えていく。

女性の就労支援を

Q 就労中の女性、求職中の女性への支援相談の現状は。

A 基本的にはハローワークが主体となるが、商工労働課も連携して状況を把握し、就職フェア等を実施している。

Q 女性の起業支援に対して本市の取組みはどうか。

A 商工会議所や金融機関などと連携して相談窓口の設置やセミナーを行い、専門家のアドバイスが受けられる。また、抱える課題について状況把握に努めている。起業家支援資金においては女性の場合、利率の優遇措置で応援している。

447字



恒松恵子議員



女性が働きやすい環境を

【今回の一般質問】

- ・ 駅前都市再生整備計画
- ・ 小野田駅周辺の改善・整備
- ・ 女性の就労に伴う課題

就労支援

Q 夜勤を伴う就労や自営業、農業従事者に対して保育園はどのように対応しているのか。

A 8時間の短時間認定と11時間の標準認定を保護者の就労時間によって認定している。就労証明提出時に短時間認定、標準認定としているが、多忙時や農繁期などは延長保育の利用を各園において柔軟に対応している。

Q 放課後児童クラブについて、支援員不足の課題を保護者の負担を増やすことで解決し、時間延長できないか。

A 従来からの要望であると認識しているが、賃金だけでなく支援員の受け手がないということもある。これからの施策を考えていく。

女性の就労支援を

Q 就労中の女性、求職中の女性への支援相談の現状は。

A 基本的にはハローワークが主体となるが、商工労働課も連携して状況を把握し、就職フェア等を実施している。

Q 女性の起業支援に対して本市の取組みはどうか。

A 商工会議所や金融機関などと連携して相談窓口の設置やセミナーを行い、専門家のアドバイスが受けられる。また、抱える課題について状況把握に努めている。起業家支援資金においては女性の場合、利率の優遇措置で応援している。



はせがわともじ
長谷川知司議員



一向に進まぬ大学 周辺の環境整備

【今回の一般質問】

- ・近隣市との行政サービスの差
- ・高齢化で影響大の地域生活
- ・進まぬ大学周辺の環境整備

大学 周辺 整備

Q 通学路に街灯がなく暗くて不安だという声があるが、どう考えているか。

A 防犯街灯は、基本的には地元自治会が負担して設置している。しかし、学生から設置要望があり、関係者が夜間に現地を調査して協議中である。

Q 小学校の通学路にもなっていて、危険と思われる道路があるが、事故が起こる前に対策が必要と思うがどうか。

A 大学周辺には、道路の曲がりが多い箇所がある。通学路でもあるため、歩行者の安全を確保することが必要と考えている。

大学を砂上の楼閣にしてはいけない

Q 大学および学生は、地域のイベント等に参加し、各種ボランティアをしている。嬉しい限りであるし、地域と一体となった大学が望ましいが、共に集える場がない。そうした中、学生の保護者の8割以上が学生寮を望んでいるが、学生寮の設置はしないのか。

A 安心安全の点から、街灯、道路も含め学生寮を喫緊の課題と捉え、大学は検討している。今後、薬学部の学生が約500名増えていく中で、あまり時間もないので、大学のビジョンを参考に、行政としてもいろいろ検討していきたい。

4 2 2 字



学生と住民が集える大学周辺に

はせがわともじ
長谷川知司議員



一向に進まぬ大学 周辺の環境整備

【今回の一般質問】

- ・近隣市との行政サービスの差
- ・高齢化で影響大の地域生活
- ・進まぬ大学周辺の環境整備

大学 周辺 整備

Q 通学路に街灯がなく暗くて不安だという声があるが、どう考えているか。

A 防犯街灯は、基本的には地元自治会が負担して設置している。しかし、学生から設置要望があり、関係者が夜間に現地を調査して協議中である。

Q 小学校の通学路にもなっていて、危険と思われる道路があるが、事故が起こる前に対策が必要と思うがどうか。

A 大学周辺には、道路の曲がりが多い箇所がある。通学路でもあるため、歩行者の安全を確保することが必要と考えている。

大学を砂上の楼閣にしてはいけない

Q 大学および学生は、地域のイベント等に参加し、各種ボランティアをしている。嬉しい限りであるし、地域と一体となった大学が望ましいが、共に集える場がない。そうした中、学生の保護者の8割以上が学生寮を望んでいるが、学生寮の設置はしないのか。

A 安心安全の点から、街灯、道路も含め学生寮を喫緊の課題と捉え、大学は検討している。今後、薬学部の学生が約500名増えていく中で、あまり時間もないので、大学のビジョンを参考に、行政としてもいろいろ検討していきたい。



学生と住民が集える大学周辺に

おくよしひで
奥良秀議員

通学路危険箇所は把握できているか

【今回の一般質問】

- ・交通安全プログラムの運営状況
- ・同上の課題と解決への取組み

危険通学路

Q 山陽小野田市通学路交通安全プログラムの要綱には、「関係機関が連携して」とあるが、なぜ市道や通学路の事故内容が把握できていないのか。

A 市は事故内容等の情報は持っていない。警察の協力が必要であるとする。また、協力依頼をしたところ、少し時間を要するという回答だった。こういった情報を持つことは重要なので、今後はより連携を強化したい。

Q 通学路の危険箇所の抽出はどのように行っているか。

A 各学校が中心となり地域教育協議会等を活用し、保護者や地域関係者から登下校時の通学路の状況について情報収集を行っている。また、定期的な安全点検も行っている。

通学路の危険箇所はこれで全てか

Q 3年間で30件の交通事故が発生している市道の通学路があるが、危険箇所にもあがっていない。本当に地域住民から正確に情報収集ができていますか。氷山の一角ではないのか。

A 確かにその場所について危険箇所の明示はない。どういう危険性があるか関係機関で検討し、取り入れる必要があると思う。また、学校や行政だけの力では子供たちの安心安全を完璧には守れないと思う。地域全体で子供たちの安心安全について考え、また保護者もそれなりの責任を負うことも理解してほしい。

489字



改善が要望される通学路

おくよしひで
奥良秀議員

通学路危険箇所は把握できているか

【今回の一般質問】

- ・交通安全プログラムの運営状況
- ・同上の課題と解決への取組み

危険通学路

Q 山陽小野田市通学路交通安全プログラムの要綱には、「関係機関が連携して」とあるが、なぜ市道や通学路の事故内容が把握できていないのか。

A 市は事故内容等の情報は持っていない。警察の協力が必要であるとする。また、協力依頼をしたところ、少し時間を要するという回答だった。こういった情報を持つことは重要なので、今後はより連携を強化したい。

Q 通学路の危険箇所の抽出はどのように行っているか。

A 各学校が中心となり地域教育協議会等を活用し、保護者や地域関係者から登下校時の通学路の状況について情報収集を行っている。また、定期的な安全点検も行っている。

通学路の危険箇所はこれで全てか

Q 3年間で30件の交通事故が発生している市道の通学路があるが、危険箇所にもあがっていない。本当に地域住民から正確に情報収集ができていますか。氷山の一角ではないのか。

A 確かにその場所について危険箇所の明示はない。どういう危険性があるか関係機関で検討し、取り入れる必要があると思う。また、学校や行政だけの力では子供たちの安心安全を完璧には守れないと思う。地域全体で子供たちの安心安全について考え、また保護者もそれなりの責任を負うことも理解してほしい。



改善が要望される通学路



Q 市内各地で行われている「いきいき百歳体操」の実態についてはどうなっているか。

A 平成 26 年から、地域の介護予防活動を促進するとともに住み慣れた地域で生き生きと自分らしい生活を続けることを目的に展開している。地域の皆様が主体となって運営されており、現在、77 か所で行われ、約 1380 名が参加している。

Q 「いきいき百歳体操」を実施している団体への支援はどうなっているか。

A 活動初回から 4 回まで、それに開始後 3 か月、半年、1 年、2 年、3 年後に地域包括支援センターの保健師や作業療法士、また地区担当の職員が体操指導を行うほか、健康状態や生活機能チェック、個人目標や活動計画の確認を行っている。

「100 歳大学」の設置は？

Q 高齢化の急速な進行から健康寿命の延伸が重要となっている。その一案として滋賀県栗東市から始まった「100 歳大学」の設置について研究してはどうか。

A 本市ではスマイルエイジングの取り組みを推進しており、健康寿命の延伸は非常に重要な課題と考えている。栗東市の「100 歳大学」は健康づくり、生きがいづくり、福祉、地域、幸せづくりのカリキュラムがあり、本市が行っている福祉分野・生涯教育分野での個別事業を体系的にまとめられ、大学という名前での事業で、好事例である。先進地の事例として研究したい。

5 1 8 字

百歳時代に向けて

【今回の一般質問】

- ・厚陽地区の活性化
- ・スマホ、携帯電話の使用
- ・高齢化対策



中村博行議員

Q 市内各地で行われている「いきいき百歳体操」の実態についてはどうなっているか。

A 平成 26 年から、地域の介護予防活動を促進するとともに住み慣れた地域で生き生きと自分らしい生活を続けることを目的に展開している。地域の皆様が主体となって運営されており、現在、77 か所で行われ、約 1380 名が参加している。

Q 「いきいき百歳体操」を実施している団体への支援はどうなっているか。

A 活動初回から 4 回まで、それに開始後 3 か月、半年、1 年、2 年、3 年後に地域包括支援センターの保健師や作業療法士、また地区担当の職員が体操指導を行うほか、健康状態や生活機能チェック、個人目標や活動計画の確認を行っている。

「100 歳大学」の設置は？

Q 高齢化の急速な進行から健康寿命の延伸が重要となっている。その一案として滋賀県栗東市から始まった「100 歳大学」の設置について研究してはどうか。

A 本市ではスマイルエイジングの取り組みを推進しており、健康寿命の延伸は非常に重要な課題と考えている。栗東市の「100 歳大学」は健康づくり、生きがいづくり、福祉、地域、幸せづくりのカリキュラムがあり、本市が行っている福祉分野・生涯教育分野での個別事業を体系的にまとめられ、大学という名前での事業で、好事例である。先進地の事例として研究し

百歳時代に向けて

【今回の一般質問】

- ・厚陽地区の活性化
- ・スマホ、携帯電話の使用
- ・高齢化対策



中村博行議員

恒松恵子議員



女性が働きやすい環境を

【今回の一般質問】

- ・駅前都市再生整備計画
- ・小野田駅周辺の改善・整備
- ・女性の就労に伴う課題

就労支援

Q 夜勤を伴う就労や自営業、農業従事者に対して保育園はどのように対応しているのか。

A 8時間の短時間認定と11時間の標準認定を保護者の就労時間によって認定している。就労証明提出時に短時間認定、標準認定としているが、多忙時や農繁期などは延長保育の利用を各園において柔軟に対応している。

Q 放課後児童クラブについて、支援員不足の課題を保護者の負担を増やすことで解決し、時間延長できないか。

A 従来からの要望であると認識しているが、賃金だけでなく支援員の受け手がいないということもある。これからの施策を考えていく。

女性の就労支援を

Q 就労中の女性、求職中の女性への支援相談の現状は。

A 基本的にはハローワークが主体となるが、商工労働課も連携して状況を把握し、就職フェア等を実施している。

Q 女性の起業支援に対して本市の取組みはどうか。

A 商工会議所や金融機関などと連携して相談窓口の設置やセミナーを行い、専門家のアドバイスが受けられる。また、抱える課題について状況把握に努めている。起業家支援資金においては女性の場合、利率の優遇措置で応援している。

447字



恒松恵子議員



女性が働きやすい環境を

【今回の一般質問】

- ・駅前都市再生整備計画
- ・小野田駅周辺の改善・整備
- ・女性の就労に伴う課題

就労支援

Q 夜勤を伴う就労や自営業、農業従事者に対して保育園はどのように対応しているのか。

A 8時間の短時間認定と11時間の標準認定を保護者の就労時間によって認定している。就労証明提出時に短時間認定、標準認定としているが、多忙時や農繁期などは延長保育の利用を各園において柔軟に対応している。

Q 放課後児童クラブについて、支援員不足の課題を保護者の負担を増やすことで解決し、時間延長できないか。

A 従来からの要望であると認識しているが、賃金だけでなく支援員の受け手がいないということもある。これからの施策を考えていく。

女性の就労支援を

Q 就労中の女性、求職中の女性への支援相談の現状は。

A 基本的にはハローワークが主体となるが、商工労働課も連携して状況を把握し、就職フェア等を実施している。

Q 女性の起業支援に対して本市の取組みはどうか。

A 商工会議所や金融機関などと連携して相談窓口の設置やセミナーを行い、専門家のアドバイスが受けられる。また、抱える課題について状況把握に努めている。起業家支援資金においては女性の場合、利率の優遇措置で応援している。



はせがわともじ
長谷川知司議員



一向に進まぬ大学 周辺の環境整備

【今回の一般質問】

- ・近隣市との行政サービスの差
- ・高齢化で影響大の地域生活
- ・進まぬ大学周辺の環境整備

大学 周辺 整備

Q 通学路に街灯がなく暗くて不安だという声があるが、どう考えているか。

A 防犯街灯は、基本的には地元自治会が負担して設置している。しかし、学生から設置要望があり、関係者が夜間に現地を調査して協議中である。

Q 小学校の通学路にもなっていて、危険と思われる道路があるが、事故が起こる前に対策が必要と思うがどうか。

A 大学周辺には、道路の曲がりが多い箇所がある。通学路でもあるため、歩行者の安全を確保することが必要と考えている。

大学を砂上の楼閣にしてはいけない

Q 大学および学生は、地域のイベント等に参加し、各種ボランティアをしている。嬉しい限りであるし、地域と一体となった大学が望ましいが、共に集える場がない。そうした中、学生の保護者の8割以上が学生寮を望んでいるが、学生寮の設置はしないのか。

A 安心安全の点から、街灯、道路も含め学生寮を喫緊の課題と捉え、大学は検討している。今後、薬学部の学生が約500名増えていく中で、あまり時間もないので、大学のビジョンを参考に、行政としてもいろいろ検討していきたい。

422字



学生と住民が集える大学周辺に

はせがわともじ
長谷川知司議員



一向に進まぬ大学 周辺の環境整備

【今回の一般質問】

- ・近隣市との行政サービスの差
- ・高齢化で影響大の地域生活
- ・進まぬ大学周辺の環境整備

大学 周辺 整備

Q 通学路に街灯がなく暗くて不安だという声があるが、どう考えているか。

A 防犯街灯は、基本的には地元自治会が負担して設置している。しかし、学生から設置要望があり、関係者が夜間に現地を調査して協議中である。

Q 小学校の通学路にもなっていて、危険と思われる道路があるが、事故が起こる前に対策が必要と思うがどうか。

A 大学周辺には、道路の曲がりが多い箇所がある。通学路でもあるため、歩行者の安全を確保することが必要と考えている。

大学を砂上の楼閣にしてはいけない

Q 大学および学生は、地域のイベント等に参加し、各種ボランティアをしている。嬉しい限りであるし、地域と一体となった大学が望ましいが、共に集える場がない。そうした中、学生の保護者の8割以上が学生寮を望んでいるが、学生寮の設置はしないのか。

A 安心安全の点から、街灯、道路も含め学生寮を喫緊の課題と捉え、大学は検討している。今後、薬学部の学生が約500名増えていく中で、あまり時間もないので、大学のビジョンを参考に、行政としてもいろいろ検討していきたい。



学生と住民が集える大学周辺に

おくよしひで
奥良秀議員

通学路危険箇所は把握できているか

【今回の一般質問】

- ・交通安全プログラムの運営状況
- ・同上の課題と解決への取り組み



危険通学路

Q 山陽小野田市通学路交通安全プログラムの要綱には、「関係機関が連携して」とあるが、なぜ市道や通学路の事故内容が把握できていないのか。

A 市は事故内容等の情報は持っていない。警察の協力が必要であると考え。また、協力依頼をしたところ、少し時間を要するという回答だった。こういった情報を持つことは重要なので、今後はより連携を強化したい。

Q 通学路の危険箇所の抽出はどのように行っているか。

A 各学校が中心となり地域教育協議会等を活用し、保護者や地域関係者から登下校時の通学路の状況について情報収集を行っている。また、定期的な安全点検も行っている。

通学路の危険箇所はこれで全てか

Q 3年間で30件の交通事故が発生している市道の通学路があるが、危険箇所にもあがっていない。本当に地域住民から正確に情報収集ができているか。氷山の一角ではないのか。

A 確かにその場所について危険箇所の明示はない。どういう危険性があるか関係機関で検討し、取り入れる必要があると思う。また、学校や行政だけの力では子供たちの安心安全を完璧には守れないと思う。地域全体で子供たちの安心安全について考え、また保護者もそれなりの責任を負うことも理解してほしい。

489字



改善が要望される通学路

おくよしひで
奥良秀議員

通学路危険箇所は把握できているか

【今回の一般質問】

- ・交通安全プログラムの運営状況
- ・同上の課題と解決への取り組み



危険通学路

Q 山陽小野田市通学路交通安全プログラムの要綱には、「関係機関が連携して」とあるが、なぜ市道や通学路の事故内容が把握できていないのか。

A 市は事故内容等の情報は持っていない。警察の協力が必要であると考え。また、協力依頼をしたところ、少し時間を要するという回答だった。こういった情報を持つことは重要なので、今後はより連携を強化したい。

Q 通学路の危険箇所の抽出はどのように行っているか。

A 各学校が中心となり地域教育協議会等を活用し、保護者や地域関係者から登下校時の通学路の状況について情報収集を行っている。また、定期的な安全点検も行っている。

通学路の危険箇所はこれで全てか

Q 3年間で30件の交通事故が発生している市道の通学路があるが、危険箇所にもあがっていない。本当に地域住民から正確に情報収集ができているか。氷山の一角ではないのか。

A 確かにその場所について危険箇所の明示はない。どういう危険性があるか関係機関で検討し、取り入れる必要があると思う。また、学校や行政だけの力では子供たちの安心安全を完璧には守れないと思う。地域全体で子供たちの安心安全について考え、また保護者もそれなりの責任を負うことも理解してほしい。



改善が要望される通学路



Q 市内各地で行われている「いきいき百歳体操」の実態についてはどうなっているか。

A 平成 26 年から、地域の介護予防活動を促進するとともに住み慣れた地域で生き生きと自分らしい生活続けることを目的に展開している。地域の皆様が主体となって運営されており、現在、77 か所で行われ、約 1380 名が参加している。

Q 「いきいき百歳体操」を実施している団体への支援はどうなっているか。

A 活動初回から 4 回まで、それに開始後 3 か月、半年、1 年、2 年、3 年後に地域包括支援センターの保健師や作業療法士、また地区担当の職員が体操指導を行うほか、健康状態や生活機能チェック、個人目標や活動計画の確認を行っている。

「100 歳大学」の設置は？

Q 高齢化の急速な進行から健康寿命の延伸が重要となっている。その一案として滋賀県栗東市から始まった「100 歳大学」の設置について研究してはどうか。

A 本市ではスマイルエイジングの取り組みを推進しており、健康寿命の延伸は非常に重要な課題と考えている。栗東市の「100 歳大学」は健康づくり、生きがいづくり、福祉、地域、幸せづくりのプログラムがあり、本市が行っている福祉分野・生涯教育分野での個別事業を体系的にまとめられ、大学という名前での事業で、好事例である。先進地の事例として研究したい。

5 1 8 字

百歳時代に向けて

【今回の一般質問】

- ・厚陽地区の活性化
- ・スマホ、携帯電話の使用
- ・高齢化対策



中村博行議員

Q 市内各地で行われている「いきいき百歳体操」の実態についてはどうなっているか。

A 平成 26 年から、地域の介護予防活動を促進するとともに住み慣れた地域で生き生きと自分らしい生活続けることを目的に展開している。地域の皆様が主体となって運営されており、現在、77 か所で行われ、約 1380 名が参加している。

Q 「いきいき百歳体操」を実施している団体への支援はどうなっているか。

A 活動初回から 4 回まで、それに開始後 3 か月、半年、1 年、2 年、3 年後に地域包括支援センターの保健師や作業療法士、また地区担当の職員が体操指導を行うほか、健康状態や生活機能チェック、個人目標や活動計画の確認を行っている。

「100 歳大学」の設置は？

Q 高齢化の急速な進行から健康寿命の延伸が重要となっている。その一案として滋賀県栗東市から始まった「100 歳大学」の設置について研究してはどうか。

A 本市ではスマイルエイジングの取り組みを推進しており、健康寿命の延伸は非常に重要な課題と考えている。栗東市の「100 歳大学」は健康づくり、生きがいづくり、福祉、地域、幸せづくりのプログラムがあり、本市が行っている福祉分野・生涯教育分野での個別事業を体系的にまとめられ、大学という名前での事業で、好事例である。先進地の事例として研究したい。

百歳時代に向けて

【今回の一般質問】

- ・厚陽地区の活性化
- ・スマホ、携帯電話の使用
- ・高齢化対策



中村博行議員

百歳体操

百歳体操



第58号 (5/15号) 紙面構成

p1		p2		p3	
表紙		新年度		予算	
p4		p5		p6	
総務		産建		p7	
民福		理科大		p8	
代① 長谷川知司		代② 笹木慶之		p9	
代③ 松尾数則		代④ 伊場勇		p10	
代⑤ 矢田松夫		① 藤岡修美		p11	
② 大井淳一朗		p12		p13	
③ 吉永美子		④ 岡山明		p14	
⑤ 山田伸幸		⑥ 中岡英二		p15	
⑦ 森山喜久		議決結果		p16	
トピックス		6月定例会日程		編集室	

●原稿割当てと校正担当について

ページ	内容	原稿割当	校正担当
2	新年度予算		
3	新年度予算		
4	委員会レポート《総務文教》		
	委員会レポート《民生福祉》		
5	委員会レポート《産業建設》		
	委員会レポート《理科大》		
6			
7			
8	代表・一般質問	各議員 (12人)	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15	賛否の分かれた議案	事務局	
16	トピックス		
	6月定例会日程	事務局	
	編集室		

議会だより第 58 号発行までの流れ（予定）

- 4月8日（水）原稿締切日
- 4月9日（木）～4月14日（火）
 - ・原稿入力
- 4月15日（水） 第1回編集会議 初校
- 4月17日（金）～4月21日（火）
 - ・初校の修正
- 4月22日（水） 第2回編集会議 2校
 - ・初校正の確認と不足分原稿の初校の確認
- 4月23日（木）～4月27日（月）
 - ・2校の修正
- 4月28日（火） 第3回編集会議 3校
 - ・2校の確認
- 5月7日（木）
 - ・委員長による最終確認→印刷所にOKを出す
- 5月8日（金）～5月13日（水）
 - ・印刷所で印刷製本及び自治会ごとに束ねる
- 5月14日（木）
 - ・議会だより第58号の納品
- 5月15日（金）
 - ・議会だより第58号を自治会便で配付